

＜京都の高校生から伝統文化を発信＞

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会  
への思いを鳥羽高校の生徒が和歌に詠みます。

今年度、京都府ではスポーツ庁から筑波大学が受託した「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業」の一環として、「オリンピック・パラリンピック讃歌」の取組を進めています。

今回、「オリンピック・パラリンピック教育モデル指定校」である府立鳥羽高校の2年生が、冷泉貴実子氏の指導のもと、東京五輪の熱気を5年後の自身の姿と重ねて和歌を創作します。

記

- 日 時 平成 27 年 12 月 7 日（月）午前 9 時 50 分から同 11 時 40 分まで
- 場 所 府立鳥羽高等学校 多目的室
- 指導者 冷泉貴実子氏（冷泉家時雨亭文庫常務理事）
- 対 象 2 年生（79 名）
- 内 容 「若草」を題とする和歌の創作指導
- その他 優秀作品は平成 28 年 2 月 11 日（木・祝）に金剛能楽堂にて披露されます。

連絡先：京都府教育庁指導部高校教育課  
総括指導主事 遠山 秀史  
電話 075-414-5852